

授業科目名	人間教育実践力開発演習 (2100304)		
時間割名	人間教育実践力開発演習 (42116)		
時間割担当	岡村季光		
実施期	通年	単位数	1 選択
曜日・時限	木・2		

授業の目標・概要

教師に必要な資質・能力である、コミュニケーション力、企画力、行動力、課題解決力などの人間力を培うことの必要性を知り、それらの能力を向上させていくことを目標とする。

人間教育実践力開発演習 における学びの成果を生かし、学校現場における実践的な体験を通して、他者との間に開かれた人間関係を築きながら、自らが主体となって行動しようとする積極的姿勢を身に付ける。

最終的には、学校現場への即戦力たりうる人材へと成長することが目標である。

学習の到達目標

- ・学校での支援活動などの実践的活動を重ねながら、今日の学校教育に関する理解を深めていく。
- ・学校等の現場での児童との関わりや、グループ活動などでの他者との関わりを通して、各自の課題を明確にした上で、課題の解決を図る。
- ・グループ活動を通して、コミュニケーション力、企画力、行動力を高める。

授業方法・形式

- ・学校現場での支援活動などによる児童とのふれあい等の実体験によって、前年度までの学習内容の理解を深める。
- ・学校現場等での実践的経験による成果を交流し合う。
- ・教育委員会等が主催する研究会等に積極的に参加する。

授業計画

第1回 ガイダンス

第2回～第14回 学校現場での支援ボランティア活動

第7回 学校支援ボランティア報告会

第15回 学校支援ボランティア報告会 ・前期振り返り

【後期】

第1回 ガイダンス

第2回～第13回 学校現場での支援ボランティア活動

第12回 地域協力校での学修報告会・学校支援ボランティア報告会

第14回 全体の振り返り

第15回 学生シンポジウム

授業研究会への参加を予定している。そのため学校支援ボランティア活動と振り替えることがある。

成績評価の基準

支援ボランティア受入校での態度や授業での態度、学びの成果や課題に関するレポートなどによって、総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

グループでの取り組みについては、授業時間外においても積極的に行うこと。

受け入れ先の学校現場は、自分の研修のためにあるのではなく、あくまでも児童の学びの場であるということを深く自覚しながら、学校教育や教師のあり方について見識を高めるよう努力すること。

履修上のアドバイス及

本講義での「人間力」を高めるための学びに積極的に参加して、自己を見つめる機会としてください。受身ではない、自発的な学習態度を望みます。また、グループでの活動では協同的に取り組めるよう心がけてください。

教材・教科書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。